

## 3月定例教育委員会議事録

- 1 日 時 平成26年3月24日(月)午後2時00分から午後4時00分まで
- 2 場 所 宗像市役所北館2階・202会議室
- 3 出席委員 委員長 井上裕之  
委員 川上美子  
委員 平田良枝  
委員 中岡政剛  
教育長 久芳昭文
- 4 その他の出席者 教育部長高橋勇次、子ども部長柴田祐治、教育部理事後藤正弘、教育政策課長岡田光晴、教育政策課指導主事羽田野崇、教育政策課指導主事正路澄代、学校管理課長占部晃、子ども育成課長中野万由美、子ども育成課社会教育主事久保謙司、図書課長長谷川慎、文化・スポーツ推進課長磯部輝美、郷土文化交流課長清水比呂之、コミュニティ・協働推進課参事村上治彦、世界遺産登録推進室長岩佐芳弘、教育政策課政策係長許斐知加、教育政策課企画主査山本幸江、世界遺産登録推進室主任技師岡崇、教育政策課教育連携コーディネーター田中雅子
- ※ 傍聴 なし

### 5 前回議事録(1/22臨時、2/6臨時、2/20定例)議事録の承認(資料1)《承認》

【井上委員長】 議案の審議に入る前に、議案40号、41号及び42号議案につきましては、教育委員会事務局員の人事案件なので、審議は非公開としたいと思いますけれども、よろしいでしょうか。

【各委員】 はい。

【井上委員長】 全員賛成ですので、宗像市教育委員会の会議規則第7条第1項の規定により、議案40号、41号及び42号は非公開といたします。また、議事をスムーズに進行するため、報告事項終了後に、この人事案件の議案を審議したいと思いますと思いますがよろしいでしょうか。

【各委員】 はい。

### 6 協議

#### ①宗像市スポーツ推進計画(案)について(資料5)

【文化・スポーツ推進課長】 この計画では運動の領域まで踏み込み、市民の健康づくりを推進し、スポーツ・運動を通して、住民交流を一層促進することでコミュニティの活発化と、子どもも含めたスポーツ機会の充実、各ライフステージに応じたスポーツ活動の推進したいと考えております。国のスポーツ推進計画では、成人者のうち週1回以上、スポーツをする人の割合を3人に2人、65%まで高めていきますという目標設定を出しております。今回初めて、障がい者スポーツの推進にも取り組む項目を入れております。体育協会傘下の団体に所属して運動をやられている人以外で、個人のスポーツの実態というものは把握ができておりません。これらの活動を

把握しないと、健康づくりにまでつながっていかないと思います。また地元の大学と連携し子どもを対象とした体力向上の支援やコーディネーショントレーニングを取り入れております。海洋性スポーツのプログラムの開発・実施ということで、26年度中に福津市と共同で、勝浦浜海岸で艇庫を整備するようになっており、27年度からこの取り組みがスタートしていくようになります。宗像の子どもたちに海に親しんでいただくような取り組みを進めていきたいと考えています。

スポーツ人口の底上げを図っていくためにはスポーツ活動の場の確保が必要となります。これらを進めていくために、中核拠点となる総合体育館の建設も視野に入れた具体的な計画となっております。また、3つの体育館の休館日を見直し稼働率を高めたいと考えております。26年度中には、市所有のスポーツ施設の一元管理の取り組みを検討し、将来的にはネット予約もできるような仕組みを構築したいと考えています。

この計画をかたちにするため2つの新しい組織を作りたいと考えております。1つは、「スポーツ・サポートセンター」という主にスポーツ・運動の支援をしていくための組織。それと、宗像版スポーツコミッションとしてスポーツ観光を進めていくための新たな組織です。

また、既存組織のなかでは、体育協会の機能強化、スポーツ推進委員につきましても、体制の刷新と役割分担の見直しを図る必要があると思っております。併せて市内3つの大学との連携は、この計画を進めていく上で欠かせないというような計画づくりになっております。

【井上委員長】 本日の推進計画の案についての説明をしていただきましたけれども、何かご意見ご質問ありますでしょうか。

【中岡委員】 27年度にはいくつかの事業が始まることから、26年度が準備期間になると思うのですが、「スポーツ・サポートセンター」というのは、非常に重要な役割を果たさだろうと考えております。30年度を目標に「新総合体育館」を建設するということですが、現在の市民体育館が、その役割を27年度から果たしていくようなかたちになるのでしょうか。

【文化・スポーツ推進課長】 「スポーツ・サポートセンター」は、できるだけ早い時期に立ち上げたいと思っておりますが、これを市民体育館に持っていくのか、もしくは、市役所に当分の間、置くのかというのは、組織を立ち上げたなかで、何を着手していくかというようなことと大きく関係がございます。今の段階では、市民体育館ということは言えないのではないかと考えております。

【中岡委員】 まだそのあたりは検討中なのですね。この計画を推進していくためには、市の体育協会に大きな力を出していただかないといけないと思っております。現在、体育協会に事務局はあると思うのですが、この計画を推進するための事務局を設置しないと実行は難しいだろうと思っておりますが、市役所のなかに設置する場合は教育委員会に担当の部署ができるのでしょうか。

【文化・スポーツ推進課長】 現行の体育協会でする範囲はどのようなことなのか、将来的にどこまで担っていくのかというのを協議する必要があります。新しい体育館には、サポートセンターが設置されることは間違いないと思うのですが、今の段階では、決まっておりません。

【井上委員長】 第1章、第2章。それで、第3章の章立てが、「宗像市スポーツ推進計画の基本的事項」となっていますが、私は、「スポーツ推進計画」でいいのではないかなと思うのですけれども、「基本的事項」としている理由は何でしょうか。

【文化・スポーツ推進課長】 位置付けと、計画の範囲と期間を定めております。

【井上委員長】 それが、基本的事項という解釈ですか。

【文化・スポーツ推進課長】 そういうことです。

【井上委員長】 子どものスポーツ機会の充実というところで、「サポートを希望する小学校」とか書いてありますが、希望しなければ、支援はいらないと判断をされるのでしょうか。希望するという表現で括ると、あまりにも消極的な気がしたものですからもっと積極的に何か策を考えて欲しいなと思います。

【文化・スポーツ推進課長】 学年によって少しばらつきがあるのですが、1学年が宗像市全体で35クラス程度ございます。体育が大体週2回としまして、70×40週で2,800コマくらいになり、もし全校に派遣するということになれば延べ2,800人を派遣するようになりまして、なかなか一朝一夕では進んでいかないのではないかと思います。派遣方法と併せながら、福岡教育大学と連携して、体力の向上や基本的動作などが身に付いていくための指導方法も研究をしていきたいと考えております。

【川上委員】 9ページの小学校体育授業及び中学校体育授業の充実のところなのですが、「小学校学習指導要領に基づいて体育の授業を行うことが容易ではない状況」と記述してあります。この表現だと、指導要領のレベルに達していない授業が学校で展開されているという印象になります。この記述を現状に即し、そのサポートをしたいという表現にされたらよいのではないかと思います。

【文化・スポーツ推進課長】 ご指摘のありました表記については検討いたします。

【平田委員】 学校開放施設の拡大についてですが、既存体育施設の平日利用率が飽和状態なのか、または、先を見通して検討していこうということなののでしょうか。子どもの安全面を考えると賛成しかねますがどのようなお考えでしょうか。

【文化・スポーツ推進課長】 既存体育施設の稼働状況は非常に高く、学校開放施設も夜間と土曜、日曜日に開放しています。今後、計画が推進され将来スポーツ人口が増えたからといって、新体育館以外の新たな施設を建設する状況にはないわけで、今ある施設の有効利用を考えております。安全面が確保され学校の授業に支障がない仕組みづくりを慎重に協議します。最終的には、できないという選択肢もあるのではないかと考えており、きちんと結論が出るまではB&G体育館の廃止はしないと考えております。

【井上委員長】 実施できるというような確証が得られたら、平成30年度からやるというような計画ですよね。

【文化・スポーツ推進課長】 学校運営上そう簡単にはいかないと思っておりますので相当慎重には考えてまいります。

【平田委員】 わかりました。学校現場との慎重な協議をよろしく願いいたします。

【川上委員】 スマホのアプリなど運動量のデータを集約できるシステム等もあると思います。スポーツ・サポートセンターにそういう情報を集約するというのが、未来のかたちになると思うのですが、個人データの取り扱い方法についてはどのように考えておられるのでしょうか。

【文化・スポーツ推進課長】 機密保持の取り組みは必要になってまいります。システムの選考については、他自治体の動向を参考に検討することになります。

【中岡委員】 たとえばウォーキングのデータで健康に関しては日赤看護大学、トレーニングプログラム等については教育大学の保健体育科のほうで一元管理とか、そういう細分化された取り

組みを大学と連携したらどうでしょうか。

【文化・スポーツ推進課長】 集積したデータの個人情報については、市がきちんと管理するのが望ましいと考えております。教育大学や日赤看護大との連携については、やっていただけるといってお話も聞いており、必ず進める計画でございます。

【井上委員長】 このスポーツ推進計画のなかで、新総合体育館の整備が非常に重要な位置付けになると思いますが、わかる範囲で結構ですので、この規模ではどのくらいの予算が必要なのでしょうか。

【文化・スポーツ推進課長】 現在、建設物価もぐんぐんとあがっておりまして確かな金額は申し上げにくいのですが、他自治体で春日市が総合体育館の建設をしており、防災機能も備えた体育館で確か60億くらい、太宰府市は確か20億くらいで、今、造られているのではないかなと思います。

【井上委員長】 これは、必ず整備されるということで考えていいのですよね。

【文化・スポーツ推進課長】 合併特例債、街づくりの補助金などがあるときに建設しないと今後は財政的に厳しいと考えております。今、市民体育館を含め3つの体育館が、32、3年の築年数で、およそ45年から50年くらいの間で取り壊して建て替えとなるのですが、その時に補助金あるいは必要財源がないのではないかと思います。この時期を延ばしたら、体育館構想というのが難しい状況になるのではと考えています。

【中岡委員】 全国・九州レベルのスポーツ大会を誘致について、大会を行うための体育館等の確保はどのように考えておられるのでしょうか。

【文化・スポーツ推進課長】 屋内スポーツ施設を対象とした大会の誘致については、総合体育館が完成後を考えております。27年度から取り組むのは、屋外のスポーツ施設でグローバルアリーナを中心としたスポーツ大会の誘致を考えております。

【中岡委員】 西日本の女子駅伝なんかもこれに含まれているのですか。

【文化・スポーツ推進課長】 そうです。

【川上委員】 「コーディネーション」の「オ」というのは、「オ」が必要なのでしょうか。

【文化・スポーツ推進課長】 「オ」の付いている協会が他自治体の小学校でコーディネーショントレーニングの導入を進めておりますので、その協会と組みたいと考えております。

【井上委員長】 私は、前回のスポーツ振興計画と見比べてみたのですけれども、今回のものはものすごく具体性がありますね。今日、出た意見を審議会のほうにお伝えして、修正すべきところは修正していただいて、いいものを作っていただくようお願いいたします。

## 7 報告

### ①行政報告 (資料6)

【教育政策課長】 差し替えがあります。内容が変わったのは、47ページの3月24日、教育長スケジュールの「地区別教育長会」が入ったところが変わっている点です。

【久芳教育長】 それでは、私のほうから行政報告を。2月20日以降ですね。22日に「いせきんぐ」において植樹祭がっております。これは、27年度が正式なオープンですが市民の手作りによる都市公園づくりの一環で行っております。東郷小学校の子ども、東郷地区コミュニティといった地域の方々、180人が参加して行われました。90本の桜の植樹を行っております。

既にご存知と申しますけれども、この田熊石畑遺跡が非常に重要な遺跡ということで、2月18日に国の文化審議会から文部科学大臣のほうに、国の重要指定文化財するよという答申が提出されております。近々、決定すると思っておりますけれども、重要文化財の歴史公園ができあがっているということで、大変喜ばしいなと思っております。それから、3月3日から市議会が始まり、暫定予算であったのですけれども、通常の議会と同じようにたくさんの一般質問が出ました。8人ほどご質問がありました。図書館のあり方、英語教育、教育環境といったもの。それから、小中学生の体力の問題、中学校の部活動、大島小中学校にICT活用の教育モデル校にしたかどうかというお話もありましたけれども、モデル校としては少し規模が小さいので、できないという答弁をいたしました。そして、市長には本市の教育の将来像といったご質問もあっております。3月の卒業式はありがとうございました。おかげ様で問題もなく、素晴らしい卒業式が行われたのではないかなと思っております。それから、今日も行っていただきましたけれども、昨日から、本市の中学生30人が宗像国際育成プログラムに参加いたしております。かなりの報道機関がまわりまして、報道していただいております。なかなかいい取り組みだったなと思っております。やはり、超一流の方がお見えになったということで、中学生たちも活発に意見を出したり、質問をしたりということで非常に良かったと思っております。

## ②後援報告（資料7）議事録なし

## ③平成25年度宗像市小中一貫教育スピーチコンテスト（最終審査会）の報告について（資料8）

【正路指導主事】 小中一貫教育スピーチコンテスト（最終審査会）のご報告をさせていただきます。まず、少し会場が狭くなりまして、窮屈な思いをさせ申し訳ありませんでした。熱のこもったスピーチが多く、前向きに進んでいると思っております。2月22日の土曜日は第3土曜日でしたが、次年度が第3土曜日は土曜日授業を始めますので、1週後の2月28日の土曜日に設定しようと考えております。ただ、各学校、特に小学校では、6年生を送る会を土曜日にするところがあって、少し懸念しているところがございますが、学校主体でお願いしますのですり合わせをしていきたいと考えております。会場に関しては、広いところにしていきたいので福岡教育大学のホールを考えています。

表彰に関してはスムーズにできたのではないかと考えております。受付、審査、来賓対応、会場進行等、役割分担をしていましたので、担当ごとの反省点を次年度につなげていきたいと考えております。各小学校での意識は高くなってきて、更に国語を大切に、駆使することのできる小学生の実現に近づいていると考えます。中学生に関しては、課題文が昨年度に比べて、時間が早く終わってしまったので、少し課題文の検討をしていきたいと思っております。小学校の課題文で、「未来の宗像」を選んだ子どもが増えたということ、今までは、「自分の夢」とか、自分に向かっていたのですが、将来の宗像を考えているというところが良かったのではないかと思います。今後ですが、特別出演をしました中学生の日本語スピーチ、それから、小学生の外国語活動発表は、ぜひ、部門として入れたいのですが、そうすると半日開催は厳しいだろうなというところですので、それから、中学生はもう少したくさんの生徒を出したいと考えております。開催の時間も、検討したいと思っておりますので日程・進行に関して検討して、次年度につなげていきます。審査に関しましては、更に改善が必要かとは思いますが、今回のように、ALTが積極的に関わり、

両者と連携しながらしていくというシステムは、これからも進めていきたいのですが、中学校教員の協力が得られるような体制を考えていきたいと思っています。講評、総評に関しては、審査結果や審査の状況について、審査委員長から一言お願いしたいと思っています。応援に駆けつけた子どもたちが、すごく今年は目立ったのですが、自分は校内審査で落ちたので、残った友達を応援に来たのだという嬉しい姿があったことを報告しておきます。

④ 国指定史跡「宗像神社境内」及び国指定天然記念物「沖の島原始林」の保存管理計画（案）について（当日配布資料）

【世界遺産登録推進課 岡主任技師】 この保存管理計画書は、第Ⅰ部が史跡「宗像神社境内」の保存管理計画、第Ⅱ部が天然記念物「沖の島原始林」の保存管理計画、第Ⅲ部がそれらの保存管理計画の推進、そして資料編で構成されています。保存管理策定のための事業は24年度、25年度の2か年わたって実施しましたが24年度は主に環境調査を実施しておりまして、調査で得られた情報をこの資料編に収めております。25年度は、この調査成果を踏まえ、自然的環境、社会的環境、歴史的環境とそれを含めた史跡や天然記念物における特性分析や課題抽出を行い将来どうやって保存管理していくかということを書いてあります。また、合計7回実施しました宗像市史跡等保存管理推進委員会の指導助言に基づき作成しています。史跡「宗像神社境内」というのは、沖ノ島（沖津宮）、沖津宮遙拝所、中津宮、辺津宮に別れておりますが、それらが一体となって具わっている本質的価値を将来に渡って保存管理するための方針を立てまして、現状変更の取扱いや整備公開活用のあり方、保存管理の体制などをまとめて示しております。「沖の島原始林」は、宗像大社が所有管理する土地ですが、「宗像神社境内」は、宗像大社のみならず民間や行政が所有管理している土地もあり、開発協議があった場合は、教育委員会の郷土文化交流課で審査を行いまして、軽微なものであればそのまま着工していただくという流れになります。現状変更が必要なものに関しては、史跡であり世界遺産の構成資産でもあることから郷土文化交流課と世界遺産登録推進室とが協議後、県と協議をして、更に文化庁への手続きを行う流れとなっております。次回の教育委員会では、製本を皆様のほうにお渡しできるようになると思います。

⑤宗像市民図書館須恵分館の臨時休館について（資料9）

【図書課長】 河東地区コミュニティ・センターが定期清掃・設備点検に伴いまして、全館が休館になります。それに付随しまして休館するものでございます。予定日としましては、5月3日の土曜日と4日の日曜日と。市民への周知につきましては、市広報紙とホームページ、ポスター等でございます。

⑥平成26年度宗像市立学校の児童生徒数・学級数（推計）について（資料10）

【教育政策課長】 61ページをご覧ください。26年度の児童生徒数3月1日推計が出ましたので報告をするものです。62ページには3月1日現在の児童生徒・学級数を載せています。平成25年度からみると、全体の児童生徒数は17名の減で、クラス数について今のところ増減はございません。特別支援学級ですけれども、25年度から比較すると11名の増、3学級の増となっています。ちなみに26年度は6学級増になるのですけれども、廃級が3学級ございますので5学級になります。新設につきましては、吉武小学校の知的、赤間小学校の難聴、大島小学

校の知的、自由ヶ丘中学校の難聴と肢体不自由、玄海中学校の自閉症情緒の6学級が新設になります。これにつきましては、県から正式に新設の決定が出ましたので、6学級増えるということです。少人数につきましては、昨年は3校でございましたけれども、26年の2年生でございませぬけれども、赤間、東郷、自小、赤西、自南の5校が今現在35人学級になる予定の学校です。

【井上委員長】 3月1日推計ですね。

⑦平成26年度定例教育委員会日程表(案)について(資料11)

【教育政策課長】 本日差し替え資料をお配りしております。平成26年度定例教育委員会日程表(案)でお出ししています。来年度は、この日程でいかせていただきたいと思っているのですが、変更等が生じる場合がございますので、確認をしていただきたいと思っています。

【井上委員長】 まだすぐにはわからないでしょう。この日程でよろしいですか。

【各委員】 はい

⑧平成26年度全国・九州・福岡県 連絡協議会等会議・研修会一覧について(資料12)

【教育政策課長】 差し替えがございます。今、お手元に郵送でお配りしたのについては、全国の分が入っていませんでしたが、お配りした後に通知がございましたので、策定しました。

⑨平成26年度小中学校の主な行事予定について(当日配布資料)

【教育政策課長】 各学校の運動会とか文化祭、家庭訪問、遠足、修学旅行等々を記載しておりますので、確認をしていただければと思います。

⑩3月学校の日について(資料13)

【久芳教育長】 玄海小学校と玄海中学校、それから、玄海東小学校、河東西小学校、河東小学校に行ってまいりました。気になっていたインフルエンザがずいぶん落ち着きまして、翌日が高校入試ということで少し心配はしていたのですが、みなさん無事に受験できましたので良かったなと思っています。

【川上委員】 日の里東小学校と自由ヶ丘南小学校と自由ヶ丘小学校、3校に行かせていただきました。日の里東小学校では5年生と6年生が卒業式の練習をしていました。教頭先生は、まだ声が出ていないとおっしゃっていたのですが、私から見れば、もうきちんと互いの目と目を見て、声かけの練習とかも真剣に取り組んでいて、卒業式当日はもっと素晴らしい卒業式をしたらと思うしております。校長先生からのプレゼントが子どもたち1人ずつに、額縁が用意されていて1人ずつの顔写真がパソコンで取り込んだものをあげるということで見せていただきました。どの子どもも、すごくいい表情をしていたので、大変いい記念になるのではないかと思います。それから、自由ヶ丘南小学校と自由ヶ丘小学校は、この日が校長先生の最後の学校の日ということで、校長先生とお話をさせていただきました。自由ヶ丘南小学校の中村校長先生は、「長い教師生活で、ストレスも溜まったのではないですか」と質問したら、「僕は、全然溜まらなかったです」とおっしゃって、「“自分に好きなことがあれば、どんなことでも乗り越えられる”というのを、子どもたちにもその自分の経験を話しているのです」ということが大変印象的

でした。自由ヶ丘小学校の大庭校長先生は、「長い教師生活のなかで、自分は本当に1番好きな仕事をやってこられて幸せでした」という言葉が大変印象的でした。不登校気味のお子さんが、朝なかなか学校に行けなくて、今日は来て、帰るときに校長室にその子が寄ってきて、「明日も来ようね」という挨拶を交わしていて、大変きめ細かな教育現場を見れて良かったです。

【平田委員】 赤間西小学校、玄東小学校、城山中学校に行っていました。赤間西小学校も卒業式の練習があっけいまして、とても姿勢が良く、きりっとした緊張感があって、とても素晴らしい式になるだろうと思いました。クラスを回らせていただいて、若い先生方が校内でとても目を引くような掲示物をされていて素晴らしいなと思いました。玄海東小学校のほうも、卒業式の練習で、久しぶりに「揚げば尊し」を今年は歌うのだということで、こちらのほうがジーンとなるような感じで、校長先生とゆりの樹幼稚園の園長先生もいらしていて、「我が師の恩と聞くと、ああ、それだけのことを子どもにしてあげられたらどうかと、何か自分が反省させられます」ということをおっしゃっていました。とても子どもたちの挨拶もいいし、本当に学校の掲示物が、「ああ今、子どもたちはこういうことをしているんだ」とか、そういったものが見えて、とても素晴らしいなと思いました。城山中学校も3年生は卒業式の練習でした。ただ少し、1、2年生は落ち着きがなく気になる生徒もいたのですけれども、校長先生とお話をさせていただいて、クラスによってはとても集中した素晴らしい授業が見られて、やはりクラスによっていろいろ違うのだなと思いました。

【中岡委員】 城山中学校は、入試前ということで3年生は試験勉強に取り組んでいるという状態でした。自由ヶ丘小学校は、ちょうど休憩時間でしたが、子どもたちがサッカーやドッジボール、鉄棒の練習など、本当にいきいきと明るい表情で、授業でも同じような表情でした。学校生活を楽しく明るく、そして、一生懸命に過ごしているなという印象を受けました。大庭校長先生は、最後の学校の日でしたが、まだ実感が沸かず、毎日一生懸命やっていますからというお話でした。自由ヶ丘南小学校は、校長先生も最後の学校の日でしたが、「どんな1年だったのでしょうか。もうすぐですね」と話をしたのですけれども、「本当に子どもたち、先生方、そして地域に恵まれて本当にこんないい雰囲気の中で、また、いい仕事をしながら退職できるということに非常に感謝しています」というお話が印象的でした。これは、校長先生のこれまでの取り組みそのものがそういうことにつながっているのではないかと思ったところです。

【井上委員長】 吉武小学校、自由ヶ丘南小学校、自由ヶ丘小学校を訪問させていただきました。吉武小学校では、寺本校長先生より、第1回吉武教育プラットフォームについて話を伺いました。この会の名前は、「学校、地域、家庭という列車が到着し、しばし乗客同士が出会い、交流して、更に次の駅に向かって出発するという駅のプラットフォーム、これをイメージして名付けた」とご説明がありました。学校、地域、家庭から22名の参加者が活発な意見交流があって、今後の吉武教育にとって大変有意義な会であったというお話を伺いました。授業につきましては、各学年少人数で、大変落ち着いた雰囲気良かったなと思いました。それから、自由ヶ丘南小学校では、川上委員も行かれたと思うのですけれども、今年度で退職される中村校長先生へ表敬訪問をいたしました。これまで理科の教育に取り組み、成果を上げてきましたが、1月の学力調査の結果で



は、算数も非常に成績が向上しており、大変嬉しく満足しており思い残すことなく退職できると、最後おっしゃっていました。私も今年度退職される自由ヶ丘小の大庭校長先生を表敬訪問しまして、授業と一緒に参加させてもらったのですが、地域の方から寄贈されたおひな様が飾ってありました。これは特学の子が台を組み立ててくれたと、校長先生が非常に嬉しそうに話されているのが非常に印象的でした。

#### ⑩福岡教育大学との連携事業について（資料14）

【教育連携コーディネーター】 福岡教育大学との連携による共同研究プロジェクトの3部門のなかの1つ、特別支援教育部門の講演会の実施と報告です。講師は、東京大学先端科学技術研究センター、人間支援工学分野 准教授の近藤武雄先生です。題は、「学習へのテクノロジー利用と合理的配慮」ということで、テクノロジーの機器、ICT機器などを混在で使っていくと、少し支援の必要な子も1人で学習できるという視点を持って、これからは、教室で子どもたちを見ていって欲しいというような愛情溢れる講演でした。宗像市福津市の小中学校の教員、教育大学の先生、子どもの発達支援センターなど、それから、委員さん方3人も参加されていただきましたので、全部で45名の参加ということで良かったなと思っております。講演では、「発達障害といわれる子たちのなかに学ぶ力は内在しているのです。それを引き出すのは教師であったり、いろいろな工夫手立てである」ということでした。「障害のある部分をテクノロジーで補い、本質的な学び及びその後の就労を実現することができる」という説明でした。

私もいろいろな子に出会ってきましたけれども「黒板に書かれたことをノートに写そうと思ってもできない子がいる」という事例を初めて聞きました。「サボっているのではなく写し取れない、その子にはそんなふうに見える。私たちにはきちんと聞こえていることが、ある子にはそういうふうには聞こえていないということもある」とのことでした。印刷物障害と呼ばれる紙の印刷物を読むことに困難を示す子もいる。こういう子たちには、高校受験をあきらめさせるのではなく、それを補うような手立てを与えてやると、その障害を乗り越えていくと言われました。東京大学には、全国からそういう子どもたちが集まっているそうです。そういう子どもたちに、どういった支援をすれば大学入試や就職までクリアできるかということ、この先生方のチームが研究をして、日本のプロジェクトになっているのだというお話でした。

いろいろな機器の紹介があり、「ペンでメモを取ると、そのときの音まで記憶するペン」「アイポッドに録音」「カメラで撮る」など、それぞれの症状に合わせた機器を使用することで子どもは非常に落ち着いて勉強するとのお話しをしてくれました。普通の教室でこういうことはできないと思いますが、そういう手立てもあるのだという意識を教師が持って、配慮を要する子どもに接することがその子を育てていくことになりまますという内容でした。

これで今年度のプロジェクトの報告を終わらせていただきます。

#### ⑪ 3地区コミセンでの図書の返却サービスについて（資料なし）

【図書課長】 宗像市図書館は3館1室体制で運営を行っており、さらに自由ヶ丘コミセン、赤間コミセン、大島小中学校図書館で市民図書館の本の貸出返却を行っております。新たに吉武、池野、岬の3地区のコミセンで、市民図書館の本の返却ができるサービスを4月1日から実施いたします。3地区につきましても、他地区に比べまして、図書の返却が可能な施設がかなり遠方

にあり、ご不便をおかけしておりました。3地区のコミュニティ運営協議会のご理解、ご協力のもとに実施するものでございます。なお、返却の受取業務につきましては、コミセン職員が開館時間内に行うものとし、各コミュニティ運営協議会と委託契約を締結させていただいております。返却後の回収につきましては、コミュニティ・協働推進課コミュニティ系の地区担当職員が週1回に各コミュニティに行きますので、その際に回収をすることにしております。今後の事業展開につきましては、利用状況を見ながら検討していきたいと考えております。

### ⑬その他

#### ・ 世界遺産関係イベント

【世界遺産登録推進室長】 写真家、作家の藤原新也さんと、直木賞作家の安部龍太郎さんの「神の島・沖ノ島」の講演会が、3月15日土曜日14時からイムズホールのほうで開催されました。会場定員が461名に対し、450名のご参加があり非常に盛況でございました。新聞やテレビ等で報道もされ福岡が誇る世界的に価値のある遺産を多くの方に知っていただくことになった講演会ではなかったかと思っております。また、その1週間後の3月15日の午後1時30分から、九州新幹線開業10周年記念イベントが博多駅前の広場のほうで行われ、市民参加型ミュージカル「宗像三女神記」の子どもたちがステージパフォーマンスを行いました。非常に一生懸命に演じましたので、県内外から来られた観光客の方にも、非常にいいアピールになったのではないかと考えております。来月4月6日、宮若のトヨタ自動車九州の春フェスタのほうで、世界遺産のPRを考えているところでございます。現在、トヨタ自動車九州の協力によりまして、市所有のバス車体に沖ノ島関連のデザインをラッピング作成している途中でございます。6日には、このラッピングバス、世界遺産を紹介する18枚のパネル展示や、沖ノ島をテーマにした「世界ふしぎ発見」の上映等もしたいと思っております。

### ⑭田熊石畑遺跡 (資料なし)

【郷土文化交流課長】 田熊石畑遺跡の土器型青銅器が15点、装身具類241点。これが、3月18日に文部大臣に答申受理されまして、国の重要文化財に指定することが決まりました。それで、指定年月日につきましては、後日、官報告知というかたちで正式な生年月日が入る予定です。現在、7点が東京に保管されており、東京国立博物館で披露される予定です。6月以降に宗像に戻ってきます。

## 8 議案

### ① 議案37号 宗像市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則(案)について(資料2)

〈承認〉

【久芳教育長】 資料2参照。議事録なし。(▲25秒)

【教育政策課長】 現在、部長と事務職である理事がございしますが、校長や教頭の管理職が指導主事として赴任された際に対応するため主幹指導主事を追加するということになります。31ページの組織にも主幹指導主事を追加することを考えています。

【井上委員長】 議案37号について承認いただけますか。

【各委員】 はい。

② 議案38号 宗像市史跡保存整備審議会委員の選任(案)について(資料3)

《承認》

【久芳教育長】 資料3参照。議事録なし。(▲15秒)

【郷土文化交流課長】 宗像市史跡保存整備審議会は、宗像市付属機関設置条例により設置されております。今回、鎌田委員の解任に伴いまして、同じ教育関係者枠で、藤周作先生に在任期間の26年11月30日まで、審議会委員をお願いしたいと考えております。

【井上委員長】 議案38号について承認いただけますか。

【各委員】 はい。

③ 議案39号 宗像市郷土文化学習交流館協議会委員の選任(案)について(資料4)

《承認》

【久芳教育長】 資料4参照。議事録なし。(▲15秒)

【郷土文化交流課長】 郷土文化学習交流館条例に基づき設置された宗像市郷土文化学習交流館協議会の鎌田委員辞任に伴いまして、同じ学校教育及び社会教育の関係者枠で、藤周作先生に在任期間の26年8月31日まで、協議会委員をお願いするものです。

【井上委員長】 議案39号について承認いただけますか。

【各委員】 はい。

【井上委員長】 他になければ冒頭に申しあげましたように、教育委員会事務局員以外は退席をお願いいたします。次回の会議は、4月22日9時半からです。

事務局員以外退席

④ 議案第40号 宗像市立小中学校教職員の人事異動について《承認》

⑤ 議案第41号 宗像市教育委員会事務局の指導主事の割愛について《承認》

⑥ 議案第42号 宗像市教育委員会事務局員の人事異動について《承認》

上記3議案について、当日配布資料参照。議事録なし。

次回開催予定日 4月22日(火) 午前9時30分開始

平成26年4月22日

井上裕之

中岡政剛

